

アメリカに於ける社会事業教育

松 本 武 子

専門職としての社会事業の発展

アメリカに於て、社会事業が職業として認められて来たのは一九一〇年以降のことである。それにはいろいろ理由がある。そもそもアメリカの社会事業の歴史を辿ると、歐洲より土地を求めて移住してきた人々が各自の手と足で密林を伐り拓き、土地を開墾して、東部海岸より漸次に大陸を開拓して今日のアメリカ連邦を創つてきた、その三百五十余年の民俗生活の歴史の中に織込まれている社会事業家のはたらきには、大いなるものがあつた。移住民の中には貧しき者、病める者、歐洲より追放されてきたものも少なくはなかつたし、扶養者なき孤児も多く大陸の冬に耕す術を知らぬ弱者もあつた。Charity, Poor Relief, Philanthropy と呼ばれる社会的活動が、何時の時代にも何人かになされて、この大陸に於ける文化生活は調和を破ることなく営まれてきたのであるが、それには日本の様な島国でなくあの様に大きな大陸であるという事、すべての者がお互いに移住民であるという事等々の特別な国柄から助長されているデモクラシーの精神が、宗教的情操と相俟つて互いに協力して隣人を相容れ助け合おうという感情と理念が、国民の生活の底を湧れているからである事は否めないのではあるまいか。Charity 即ち慈

善行為であつた社会事業が、ケースワーク、グループワーク等の技術と訓練とを必要とする社会事業にまで成長して行く過程には、多くの先覚者の発見があつた。同時に、世界大戦は技術的専門的社会事業の急速度の進展を招いた。

専門化し、分化した社会事業が各分野に於て統合されて同盟と云うかたちになる。同盟は更に、連盟になり、県を通じての連盟は拡大されて州の連盟となる。更に拡大されてアメリカ連邦の連盟となる。小さな統合から、大きな統合へ進み、最後にナショナル連盟となる過程を辿つて社会事業は進んで行つた。かくて連盟は、会員の資格基準を設定する。このオーガニゼーションの基準設定は、社会事業の教育を進ませた。他方、第一次、第二次の世界大戦、一九三二年の不況が社会事業家の仕事を必要とした事が、社会事業の養成訓練の爲の機関を向上させた。例えば、後に詳述するが、American Association of School of Social Work (アメリカ社会事業学校協会) は、当初、社会事業に関するすべての教育機関の加盟によつて成立した協会であるが一九三九年には会員加盟資格基準を大学院程度二年の教室の講座と、実習の指導をする大学に限定するまでに至つた。

現在アメリカでは、ただ大学を出ただけでは一人前の社会事業家になれないのである。Council on Social Work Education (American Association of School of Social Work の後身) によつて認定された大学の大学院に於て、二年以上の研究をなし、M・Aの学位をもつたものだけが職業人としての社会事業家として、就職する事が出来る。就職の場合、しつかりした施設に於ては、社会事業のM・Aの資格をもつていふ事が、採用試験をうけ得る条件となつてゐる。また事実、大学院の課程を履んでみると、それだけの内容をもたなくては職業的な社会事業の仕事は、十分に出来なといふ事がわかる様な教育をしてゐる。

専門職としての社会事業 (Professional Social Work) の意味

慈善的な社会事業から、専門職としての社会事業への転換が、社会事業教育の必要とその進展をもたらしたのであるが、それでは職業としての社会事業とは如何なる意味をもつのであろうか。

Joseff Andersonは、社会事業を定義して次の様に云つてゐる。

「個人として、或いはグループとして、彼等自身の欲求或いは能力に依じて、またその関係する社会の人々と相調和して、満足な関係と満足な生活水準を得るように、彼等を助ける為に人々に与える職業的サービス」であると。

社会事業の目的とするところは、貧しき弱者に物質的援助を与える事のみではなくて、彼等の経済的或いは、对人的環境に満足な調和をもつ事に困難している人々に助力を与える事である。貧困である者に、ただ物品を恵与すれば貧困が解決されるものではない。また医者が、ただ薬を与えたり処置をすればすべての病人が元気になる

社会事業教育特集

るといふものではない。その間いろいろな精神的なやみを解決し、精神的に健康な生活が出来る様に方法を講じてやる事に依つてクライアントは立直つてゆく。非行少年の場合も同様であつて、保護処分を課したあとの世話が大事である。社会事業は、他の職業のみで簡単に解決されない事例を解決する努力の役割を自らかつてゆく仕事であるとも云える。従つて其の仕事の役割は、市役所や、児童相談所、セツルメント等に於ては勿論のこと、病院にも学校にも、或いは地域社会にも見出される。仕事の性質はその職場に従つて第一次的な場合もあり、他の職業と相まつて副次的な場合もある。社会事業の関心は、更に問題の根本的な対策として、教育、住宅、文化事業にも入つてゆくのである。

社会事業をその方法の差異から分類すると、グループワーク、ケースワーク、コミュニティオーガニゼーション、社会事業の調査、並びに管理という分類になる。社会事業をその対象並びに、分野の特殊性から分類すると、ファミリーソーシャルワーク(家族を対象とする社会事業)、児童福祉、医療社会事業、学校社会事業、精神衛生的社会事業、司法保護事業、等々になるのである。

アメリカに於ける社会事業教育の発展

十九世紀半ばまでに、既に非常に多くの社会事業の仕事が色々な形で起つていたので、これら多種多様な無関係に行われてゐる社会事業の施設や運動の間に連絡をもち、秩序ある効果的な仕事にして行こうという企てが起つた。最初マサチューセツ州に起つたのであるが、これは、一つの運動となつて、諸州に同じような統合即ち Charity Organization Society が次々に成立した。現今のアメリカの専門職社会事業への発展の源をなした調期的な運動であつた。

社会事業教育特集

ニューヨーク、チャリテイ、オーガニゼーション、ソサイアティは、社会事業家の訓練が必要であることを唱えて一八九八年社会事業家の為の夏季講習を始めた。これがアメリカに於ける社会事業教育の先駆である。ニューヨーク、チャリテイ、オーガニゼーションソサイアティの委員の一人である Mary Richmond は一九一七年 Social Diagnosis を著して始めて、ケースワークを説いたのであった。この夏季講習は、一九〇四年 New York School of Philanthropy となつて二年の課程をもつことになつたのであるが、これが現在コロンビア大学に属している New York School である。

一方、シカゴに於けるソーシャルワーカーのグループが、シカゴ大学の Extension として社会科学研究所をたてたが、これが一九一九年シカゴ大学の社会事業学部となつた。

かくて同一一九一九年には、専門職社会事業の Training School の連盟が成立した。当初の American Association of Social Work Education (アメリカ社会事業教育協会) の加盟は十五であつて、九は大学に属するもの、六は社会事業施設に属する研究所であつた。その加盟資格は、アカデミックな社会事業の知的訓練と実習を一年間している施設である事が条件であつた。

第一、第二の世界大戦、そして一九三二年の不況は、社会福祉事業の必要度を高め、従つて社会事業教育は急速度に進歩してきた。しかし、その間大学は実習をアカデミックな規範の中に認めないし、一方、福祉施設に属する教育施設では、その実目的に拘束されすぎるといふ様な現在の日本に於ける社会事業教育の発展途上にある障害と同じ様な障害に煩わされる時代もあつた。世界第一大

戦後、赤十字の人々を教育する為に十五の大学が、活用された事も一つの促進剤となつて、社会事業教育は進んだのである。

一九三五年には A A S S W (American Association of School of Social Work) は、その規則を改めて、アメリカ大学基準協会 (American Association of University) に認定されてそのリストにのつてゐる教育施設の中にある社会事業学部でなければ、加盟資格を認めない事とした。この基準設定は、大学内に於ける社会事業教育の認識をも高める事に大いなる促進を与えた。

更に一九三九年には、基準を高めて、M・A が与えられる大学院の二年間の教育を行う大学のみに加盟資格を与える事になつた。現在はこの基準を保持している。こうした A A S S W の基準に従うために、大学に属してゐない教育施設は大学に属する様になつたし、一方新設の大学の社会事業学部は、そのカリキュラムを A A S S W 連盟の設立した内容に従うようになつた。前述したように、ニューヨークスクールが一九四〇年にコロンビア大学に属したのは、連盟の規則に従う為であつた。かくてアメリカの社会事業教育は完全に専門職社会事業教育として、二カ年の大学院の教育課程に於てはじめて達成されるという程度にまで高まつたのである。

アメリカには、既に A A S S W の他に National Association of School of Social Administration があつた。一九五二年の両者が合併して National Council on Social Work Education となつた。そして社会事業教育機関を認定する機能は、A A S S W から移つて Council on Social Work Education (社会事業教育審議会) によつて行われる事になつた。爾來、この協会は社会事業教育機関について、基準の設定、内容の検討調査、教育方法の指導及

び、出版によつて、アメリカ連邦に於ける社会事業教育の促進助長をはかつているものである。

現在、社会事業教育審議会によつて認定されている大学院のコースをもつ大学は、アメリカ全土に五十九校ある。

社会事業教育審議会の全国会議は年一回行われる。この大会に先立つて毎年一月には、大会を意義あらしめるべくプログラム作成の為に委員達が、ニューヨークに集まつて準備の会をとる。大会には、種々な題目による研究会が指導者中心に行われるようになってゐる。かかる会議の内容は、少しく日本に於けるこの種の会議の内容と違つてゐるようである。

大学のカリキュラム

現在アメリカの社会事業の専門教育をする機関は、二年間の大学院のコースでなければならぬといふことのみでなく、すべての大学院のコースは、或る程度の共通なカリキュラムを組んでゐる。従つて転入学といふ事も至極容易である。僅か五十年間に現在に至るまでの過程を辿るのも参考になるかと考へるので述べたいと思つて、そもそも、ニューヨークスタイルにしてもシカゴの研究所にして

も、社会事業の初期の学校は、職業的訓練の必要に迫られてたゞられたものであつた。社会事業家がしなければならぬ仕事を、如何に効果的に果すかといふ事を学び教へるのが社会事業の学校教育の目的である。故に当初より、教育的な Supervision (指導管理) のもとに実習をさせる事が要点である。一九一九年に成立した A A S S W は一九三〇年にカリキュラム委員会を組織し、カリキュラムの研究に当つた。この時はじめて組織立てられた社会事業教育のカリキュラムは、最低限度の基準ともいふべきものであるが、それをもつ

社会事業教育特集

て社会事業学校連盟は、社会事業の教育機関として、この連盟に加盟を許す基準とした。これを一九三二年の Minimum Curriculum という。委員会は十三科目の必須ともいふべき科目を見出したが、これを全体の学生に必修にする事は困難であると考え、科目をグループ分けにし、その中から一定の数の科目を必修とすることを要求した。履修期間は、実習を含んで一年であつた。グループの科目の中心は、次の三つであつた。Casework, Medical Information, Psychiatric Information

第二のカリキュラム改組は一九四四年であつた。一九三二年頃の不況、一九三五年の連邦社会保障制度の確立等による専門職としての社会事業の発展は、更に社会事業教育カリキュラムの変更の必要を促した。社会事業学校連盟委員会は、六年間のカリキュラム研究の後、所謂 The Basic Eight といわれている専門職社会事業教育の為に必須といふ八科目につき研究すべき講座を編成した。それは次の科目である。Social Casework, Social Group Work, Community Organization, Public Welfare, Social Administration, Social Research, Medical Information, Psychiatric Information.

この The Basic Eight のカリキュラムは、更に一九五二年に改組された。この改組に於ては、Basic Eight の科目を変更したのではなく、その内容を補足充実したのであつて、一年次に於て社会事業の知識と技能の初期を与へ、更に二年次に於てその知識を専門的分野に深め、技能を訓練し、専門職社会事業家としての十分な能力を賦与するといふカリキュラム構成であつた。この基準をつくる事によつて、実習を含む二年以上の M・A を与へる大学院の課程

社会事業教育特集

をもたない大学は、社会事業学校連盟に加盟している事を許されない事になつた。

一九五二年カリキュラム委員会は次の様に述べている。「社会事業の教科は、学生が理論的な知識を用い、試みる事が出来、専門的な技術を習得し、専門的な自己訓練が出来、人間のもつ本質的な尊厳を是認する事に基づく社会哲学を發展させる事が出来る様に、教室の授業と実習のコースと調査との適当な組合せを懸えていなければならぬ」。従つてこの大学院の課程に入学を許す前にカレッジに於て社会科学と生理学一般との基礎的講座を履修する事を要求している。

前述の如く現今の社会事業の技術は、その対象によつて、方法も異なるので、現在大学のカリキュラム構成は、四課程の専門コースの分類によつて、社会事業教育審議会によつて認定されているのである。それは、グループワーク課程、病院社会事業課程、学校社会事業課程、及び精神衛生学社会事業課程の四課程である。それはそれぞれ American Association of Group Workers, American Association of Medical Social Workers, American Association of School Social Workers, 及び American Association of Psychiatric Social Workers, によつて認定された専門教育の課程でもある。

社会事業教育審議会によつて認定されている大学は、現存五十九校あるのであるがそれらの大学は、右の四課程の中の一つ以上を備えている大学であつて、その何れを有するかは、協会で発行するリストに載つているから、勉強しようとする学生はそれに依つて志望校を決める事が出来る。

The Advanced Curriculum (修士課程以上のカリキュラム)

社会事業の専門分野に於ける指導者、管理者を求めめる傾向は、更に社会事業教育を M・A の学位より以上の研究への道を求めている。現在ドクターの学位を与える内容を備えている大学は十三校ある。このコースの爲には、カリキュラムの基準が定められていない。何故ならば、それは個人的な且つ極めて専門的な指導又は研究であるからである。期間は二年乃至三年を要する。

有資格社会事業家の現状

専門職社会事業の M・A の資格を有する社会事業家は、アメリカに於ける全社会事業家の数十七万五千人の中十六パーセントといわれている。大学院の教育を二年未滿うけた者が二十四パーセントである。この様に大学院程度の専門教育の必要を唱えているアメリカに於ても尚六十パーセントの専門教育をうけない社会事業従事者がいる。大体私立の施設では、有資格者が採用されているが公立の施設では、社会事業の学位をもつ職員の数はまだ少ない。よい施設であると定評があるところは、有資格者を充たしている施設である事は当然の理であろう。ソーシャルワークの M・A の資格は定評ある施設の採用条件でもあるので、ソーシャルワークの M・A をとれば求職に困るという事はない。採用試験が課されても、その内容は全くソーシャルワークの大学院の課程で履修された知識や技能を査定する試験であるから、何れにしてもよい社会事業施設に就職するには、絶対に社会事業の大学院の課程を履修する必要がある。

アメリカと日本に於ける社会事業教育の比較

最後にアメリカに於ける社会事業教育を日本の社会事業教育と比

較して、一言私見を述べさせていただく事によつてこの稿を閉じた
いと思つた。

私が単に現在のアメリカに於ける社会事業教育や施設に於ける状
態を見たり聞いたりして、得た材料によつてここに提供する事をや
めて、歴史的にこれを調べ社会事業教育の発展の経過を述べたのに
は、意味がある。私はアメリカに於て社会事業教育がどの様なカリ
キュラムで組まれ、またそのカリキュラムがどの様な方法で学生に
教えられているかを、実際に確實に知らうと思つたので、敢えてイ
シデアナ大学に於て二年間の学生生活を經驗してきたのであつた。

また施設を見学したり、諸大学の社会事業学科を訪問し、親しくそ
の責任者に面談して社会事業の教育方法について知り、各大学が如
何に熱心にその教育効果をあげる事に努力しているかを知つた。全
国社会事業会議、州の社会事業会議に出席して現任社会事業家がそ
の質的向上の爲に努力する姿をも見たし、その両者の会議の性格の
相異をも知る事が出来た。しかし、この稿に於ては私は私が見聞し
たところの現代に於ける社会事業の現場に於ける教育を述べる事を
やめて、専らアメリカのアカデミックな社会事業教育の発展の跡を
辿り、それが及ぼせるところの専門職社会事業の発展を述べようと
思つたのである。顧みて日本に於ける社会事業教育の実状をみる時
に感無量である。

アメリカの社会事業教育の始まりは一九〇四年ニューヨーク・
O・Sが創めた「夏季講習」であつた。日本に於ては如何であらう
か。現在、社会福祉主事任用の資格の条件の一に、「厚生大臣の指
定した講習会の課程を修了した者」という項があるのである。(社
会福祉事業法第十八条) また児童福祉司任用の資格にしても、「大
学に於て心理学、教育学又は社会学を専修する科目を修めて卒業し

た者」(児童福祉法第十一条の二)とあつて、肝心の社会福祉学科
課程を履む事が必須の条件であるとは誓かれていない。社会福祉事
業を志す者が受けようとする試験の内容は、大抵の場合、凡そ社会
福祉学科のカリキュラムとは縁遠いものになつてゐる。従つてここ
に、社会福祉事業学科を卒える学生のなやみがある。

一九五四年、日本に於ても社会事業学校連盟が創立された。今後
連盟は社会事業教育の向上、基準の設立等に努力するものであらう
が、私は社会事業教育の日本に於ける現状がアメリカのそれより五
十年おくられているというよりも、日本の社会に於ける、社会事業の
本質に対する認識が五十年おくられていると云いたい。専門職とし
ての社会事業の存在が、我々の社会生活のかくも広き分野に亘つ
て、不可欠のものであることが自覚されるならば、我々の社会生活
の病的現象の解決ははやく、或いは未然に防ぐこともなし得るであ
らう。然るに、実際は社会福祉学科の卒業生が社会事業職によつて
貢献したいという善意をもつてゐるに拘わらず、活用される「場」
が見出されない実状である。かくて、卒業期には、奉仕的な若い野
心が、奉仕すべきみちを見出し得ずして葬られてしまいがちであ
る。

アメリカに於ては、公私の施設が有能な社会事業家を職員に迎え
んと欲して、奨学金を大学院の学生に与え、ただ一つの条件として
その施設に卒業後少なくとも一年乃至二年働く事を要求している。
然も尚、ゴールデン、ハミルトンは、"Helping People — The
Growth of Professor" に、アメリカに於て、社会事業の専門教
育への認識が足りず、有資格者が採用されていない事の非をばげし
く訴えているではないか。

我々社会事業教育に責を担う者にとつて、道はあまりにも遠く、
且つ難しいことである。